

新潟市北区郷土博物館 令和4年度(4～10月)事業報告

1 展示活動

(1) 常設展示 「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

(2) 企画展及び関連事業

① 常設展拡大企画 昭和の暮らし展—日々をいろどる「食」の風景(前年度から継続)

常設展示の一つのテーマを掘り下げて展示する企画展。昭和の時代に使われていた昔の道具を展示し、その暮らしを紹介する「昭和の暮らし展」。小学校3年生社会科「かわる道具と暮らし」の授業内容とも連携させることができる企画として、平成28(2016)年度より開催。シリーズ6回目のテーマは「日々をいろどる「食」の風景」。今回は、さまざまな食事のシーンを通して活力あふれる昭和の一断面を紹介。

- ・会 期 R4. 1/4(火)～5/8(日)
- ・入館者数 2,406人(4/1～5/8は874人)
- ・展示点数 76点(民俗資料、写真資料、書籍等関係資料)
- ・展示構成

家での食事(普段の食事、特別な日の食事)

外での食事(レストラン、学校、旅)

体験コーナー(会期中随時)・天びん棒を担いでみよう

・食の思い出掲示板

- ・展示解説会(実施日・参加者数・講師)
 - 3/26(土)・5人・齋藤加奈(令和3年度分)
 - 4/23(土)・9人・齋藤加奈
 - 5/7(土)・10人・齋藤加奈

② 特色ある区づくり事業(2022木崎村小作争議100周年事業)

生活の向上を求めた小作農民と地主眞嶋桂次郎展

—史料でさぐる小作と地主それぞれの思い—

木崎村小作争議は、農民が自らの生活の改善を目指した運動で、大正から昭和初期の農民運動として全国的にも知られている。100周年にあたる本年、この運動が北区で起こったことを再認識してもらうことを目的に開催。当館所蔵の小作側の資料に加えて、今回は、地主の中心人物であった眞嶋桂次郎の人となりが見える資料も展示した。

- ・主 催 新潟市北区・新潟市北区郷土博物館
- ・会 期 5/28(土)～8/28(日)
- ・入館者数 1,840人(ほか別会場の講演会に245人)
- ・展示点数 50点(歴史資料27点、写真パネル16点、木版画5点、その他2点)

- ・展示構成 木崎村小作争議が起こるまで
木崎村小作争議のあらまし
地主側の中心人物 眞嶋桂次郎とは
木崎村小作争議の顕彰活動について

- ・講演会

①演題「近代日本における地主・小作関係の成り立ちと新潟県の農民運動
－木崎村小作争議前夜の時代状況を考える－」

- ・期 日 6/11(土)
- ・会 場 豊栄地区公民館大講堂
- ・講 師 中村 元 氏 (新潟大学 人文学部 准教授)
- ・参加者数 128人

②演題「地域社会と「人間らしさ」のゆくえ －木崎争議と木崎村の歴史を考える視点－」

- ・期 日 7/2(土)
- ・会 場 豊栄地区公民館大講堂
- ・講 師 大串 潤児 氏 (信州大学 人文学部 教授)
- ・参加者数 117人

- ・木崎村小作争議のゆかりの地を巡る見学会

- ・期 日 6/12(日)、6/25(土)
- ・講 師 阿部 紀夫 氏 (木崎村小作争議記念碑保存会 事務局)・曾部珠世
- ・参加者数 12(日)…18人、 25(土)…19人

- ・北区内中学生の見学会

- ・期 日 6/29(水)～7/13(水)
- ・講 師 職員、市民ガイド
- ・見学校 木崎中学校1～3年生 (全校生徒)、岡方中学校3年生

日程	参加者(生徒+先生)	備考	説明等
6月29日(水)	29人(27+2)	木崎中2年	川崎館長、曾部、市民ガイド3人
7月6日(水)	29人(27+2)	木崎中3年	川崎館長、曾部、市民ガイド1人
7月7日(木) ①	30人(27+3)	木崎中2年	川崎館長、曾部、市民ガイド1人
7月7日(木) ②	21人(19+2)	岡方中3年	川崎館長、曾部、市民ガイド1人
7月13日(水) ①	28人(26+2)	木崎中3年	川崎館長、曾部、市民ガイド2人
7月13日(水) ②	31人(28+3)	木崎中1年	川崎館長、曾部、市民ガイド3人
7月13日(水) ③	30人(28+2)	木崎中1年	川崎館長、曾部、市民ガイド3人

③ 美術企画 アートの世界を楽しむ展 -重なりあう線、混ざりあう色-

イシヤマヒロコ、高橋清、高松次郎、鶴巻加代、戸川淳子の5人の作家による絵画・彫刻・工芸作品の展示と、対話による鑑賞やワークショップによる創造体験を通し、大人から子どもまで楽しめる自由なアートの世界を紹介。

- ・会 期 9/17 (土) ~ 10/23 (日)
- ・入館者数 666人
- ・出品作家 ※太字は、当館所蔵作品を出品
イシヤマヒロコ (工芸4点)、**高橋清 (彫刻1点)**、
高松次郎 (絵画1点、版画1点、彫刻1点)、鶴巻加代 (絵画7点)、
戸川淳子 (絵画5点、版画1点)
- ・展示点数 21点

- ・作品鑑賞会 「みる」を楽しもう (実施日・参加者数・講師)
9/25 (日)・7人・齋藤加奈
10/16 (日)・9人・神田直子

- ・ワークショップ
 - ① カタカタカタチ ~ふんわりうかぶ雲のカタチを作ろう~
 - ・期 日 10/1 (土)
 - ・講 師 北上あつ子氏 (元新潟市美術館学芸員(造形指導))
 - ・参加者数 4人
 - ② 自分だけの《かたち》を作ってみよう
 - ・期 日 10/8 (土)
 - ・講 師 齋藤加奈
 - ・参加者数 9人

2 教育普及事業 (講演会・講座・教室・講師派遣等)

(1) 「北区のお宝マップ」第5版作成のための校正

- ・内 容 平成19(2007)年度の区づくり事業で当館が作成・発行した「北区のお宝マップ」の第5版を新潟市北区観光誘客推進協議会(担当:北区産業振興課)が印刷するにあたり、記載事項の確認・校正を行った。
- ・期 日 10月
- ・担 当 曾部珠世

(2) 講師派遣 前期はなし

(3) 他館主催事業への協力

① 絵本『福島潟と妖怪たち』(2022年10月発行)の文章(福島潟の干拓の歴史の記述部分)の校正

- ・主 催 新潟市北区文化会館
- ・期 日 6月
- ・担 当 曾部珠世

(4) レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、歴史資料や郷土史関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

(5) 刊行物販売

3 ふるさと学習

学校や地域などと連携し、資料の紹介や展示見学の利用を図る。

(1) 学校教育の一環としての利用

① 新潟市立濁川小学校3年生(社会科「かわる道具と歴史」関連)

- ・期日と人数 7/15(金)、60人
- ・講 師 齋藤加奈、曾部珠世、市民ガイド 2人
- ・会 場 常設展示室(昔の米作りの道具などから昔のくらしを説明、漁具の見学、野良着の試着体験)

(2) 一般の地域学習の場としての利用

① 新潟文化財観賞会(木崎村小作争議展の展示説明)

- ・期 日 6/9(木)
- ・講 師 曾部珠世
- ・参加者数 20人
- ・会 場 ホール(企画展)

② 新潟市歴史博物館ボランティア見学(木崎村小作争議展と常設展示の展示説明)

- ・期 日 7/16(土)
- ・講 師 曾部珠世、市民ガイド2人
- ・参加者数 22人
- ・会 場 ホール(企画展)、常設展示室(北区の特徴の説明)

4 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）の活動

市民ガイド研修（スキルアップ研修、情報共有・情報交換）の実施、来館者対応についての調整の事務等。

（1）活動実績（4月～9月 ※10月は実績なし）

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行うもの。

- ・一般団体見学対応 2回（見学者30人（みなとびあボランティア、西区みつわクラブ）、市民ガイド延べ3人）
- ・個人見学対応 9回（見学者154人、市民ガイド延べ20人）
- ・学校見学対応 5回（見学者258人、市民ガイド延べ12人）

（2）市民ガイド研修

市民ガイドのスキルアップと情報共有を図る目的で行う。

① 当館企画展関連研修と情報交換

「昭和のくらし展 一日々をいろどる「食」の風景」での研修と、令和3年度の活動実績報告、令和4年度のガイドの依頼、活動についての意見交換を行った（担当 齋藤）。

- ・実施日 4/23（土）
- ・参加者数 市民ガイド5人
- ・担当 齋藤加奈、曾部珠世
- ・研修場所 北区郷土博物館

② 当館企画展関連研修と情報交換

木崎村小作争議100周年事業企画展での研修と、同展の中学生見学対応についての連絡を行った（担当 曾部）。

- ・実施日 6/19（日）
- ・参加者数 市民ガイド6人
- ・担当 曾部珠世、齋藤加奈
- ・研修場所 北区郷土博物館

③ 当館企画展関連研修と情報交換

「美術企画 アートの世界を楽しむ展 ー重なりあう線、混ざりあう色ー」での鑑賞研修（担当 齋藤）と、前期の活動実績報告・今後の活動の確認等を行った（担当 齋藤、曾部）。

- ・実施日 10/22（土）
- ・参加者数 市民ガイド5人
- ・担当 齋藤加奈、曾部珠世
- ・研修場所 北区郷土博物館

5 博物館実習、職場体験等の受け入れ

(1) 博物館学芸員課程履修の実習生の受け入れ

- ・実習期間 8/23 (火) ~ R5. 2月のうち7日間
- ・実習生 2人 (新潟大学4年1人、川村学園女子大学3年1人)

6 郷土資料収蔵庫の管理

- ・環境整備 ・虫の侵入防止 ・空調管理

7 所蔵資料 (指定文化財含む) の保管・整理

(1) くん蒸処理の記録 (郷土資料収蔵庫)

- ・収蔵資料のくん蒸処理
(旧横井の丘ふるさと資料館から撤収した資料、令和3年度「昭和のくらし展」で展示した民俗資料、新収蔵資料等をくん蒸。 10/3 (月) ~ 10/7 (金))
- ・防虫防菌処理。 10/5 (水)

(2) 所蔵資料の整理

- ・民俗資料整理 (収蔵民俗資料の清掃・郷土資料収蔵庫の配架) 4日 (外部依頼)

8 所蔵資料の貸出と写真等の使用の許可の記録

(個人への貸出等は除く)

許可日	資料名	目的	貸出・許可先
3/16 ※貸出期間は 4/1~R5.3/31 ※H23.4/1以降 貸出継続	・森下古銭出土地 古瀬戸[瓶子]、 ・森下古銭出土地 銭貨94枚、 ・伝佐渡沖海底 珠洲焼[壺] (島山佑二コレクション)、 ・華報寺墓跡 珠洲焼[壺] (島山佑二コレクション)	新潟市文化財センターでの展示	新潟市文化財センター
3/17 ※展示期間は R4.4/9~5/31	・昭和30年代の農作業の写真10点 (山口賢俊氏撮影) 等、昔と今の農作業の写真17点	企画展「米ー田んぼからお家まで」展での展示	杉並区立郷土博物館
3/31 ※R3.4/1以降 貸出継続	オオヒシクイ剥製 (アクリルケース入り)	水の駅「ビュー福島潟」での展示	水の駅「ビュー福島潟」

許可日	資料名	目的	貸出・許可先
6/1	「早通教場の児童・教師と組合員」 (木崎争議関係) 写真1点	「日本農業新聞」の 連載企画への掲載	日本農業新聞
6/23	水害関係写真パネル14点	防災訓練時に展示	川西地区防 災会
6/24	「無産農民学校上棟式」 (木崎争議関係) 写真1点	「新潟日報」への掲 載	新潟日报社
9/2 ※展示期間は 9/10～11/27	・昭和30年代の稲の脱穀調整作業等 の写真11点、映像1点(山口賢俊 氏撮影) ・葛塚市 ・福島潟の漁 等の写真15点、映像1点	企画展「第19回む かしのくらし展 ご つつお！」展の展示 及び広報	新潟市歴史 博物館
9/13 ※展示期間は 11/15～11/23	羽田信彌「野良の叫び」シリーズより 木版画作品13点	「羽田信彌木版画 展」の展示及び広報	小さな美術 館 季
10/7	・木崎村第一回騒擾事件記念、 ・木崎村小作争議50・60・70・80・90 周年記念集会 写真6点	木崎村小作争議100 周年記念集会のパン フレットに掲載	木崎村小作 争議記念碑 保存会

9 北区の文化財（指定文化財ほか）の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

- ・民俗資料整理（収蔵民俗資料の清掃・郷土資料収蔵庫の配架） 4日（外部依頼）（再掲）

(2) 公開活用

①文化財等説明板の修繕

- ・板面修繕 1件（三ツ屋の虫送り）…作業中
- ・塗装 3件

②修復した「看板（無産農民学校西入口）」（市指定文化財）の企画展での公開

③国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市）のリニューアルに伴う複製品の作製に伴う対応 （複製資料3点：

「看板（無産農民学校西入口）」「あみものてらんかいに付て」「農業組合時報」)

(3) 保護育成

- ・くん蒸処理（収蔵資料等）（再掲）
- ・市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」に関する対応（大雨による枝折れのき損、今後の補助金申請にかかる相談対応）

10 特色ある区づくり事業「2022 木崎村小作争議 100 周年事業」

（令和2～4年度の3ヵ年事業の3年目）

木崎村小作争議は、農民が自らの生活の改善を目指した運動で、大正から昭和初期の農民運動として全国的にも知られている。令和4（2022）年度がその100周年にあたることから、この運動が北区で起こったことを再認識してもらうことを目的として事業を実施するもの。あわせて、次世代に引き継ぐために、劣化の進んでいる歴史資料の修復を行う。

【令和2年度】

- ・令和4年度の100周年に開催する企画展で展示予定の「看板（無産農民学校西入口）」（新潟市指定文化財）の修復を行うために、看板の状態調査を東北芸術工科大学へ委託し、調査を行った。
- ・県立文書館等で木崎村小作争議に関する歴史資料の所在確認調査を行った。

【令和3年度】

- ・東北芸術工科大学に委託し、「看板（無産農民学校西入口）」の修復を行った。
- ・修復した看板の保存ケース兼展示ケースを作成した。
- ・企画展のための準備（資料調査・選定、広報印刷物・パンフレットの作成、パネル制作など）を行った。

【令和4年度】

- ・企画展「生活の向上を求めた小作農民と地主眞嶋桂次郎展—史料でさぐる小作と地主それぞれの思い—」の開催。（P. 1 参照）
- ・修復した「看板（無産農民学校西入口）」の同展での公開。（P. 1 参照）
- ・企画展関連事業として、講演会とゆかりの地を巡る見学会を実施。（P. 2 参照）
- ・北区内中学生の郷土学習の機会として、企画展見学会を実施。（P. 2 参照）
- ・記録集の作成（企画展のまとめ・講演会の報告・修復の報告等）（後期）

11 旧横井の丘ふるさと資料館の解体に伴う業務

令和4年3月31日に廃止した旧横井の丘ふるさと資料館の解体に伴い、資料搬出、郷土資料収蔵庫への搬入、資料のくん蒸を行った（9～10月）

令和4年度入館状況

9月30日現在

月別	北区郷土博物館 入館者数(人)	主な行事
4月	628	昭和のくらし展-日々をいろどる「食」の風景- 1/4~5/8
5月	534	昭和のくらし展-日々をいろどる「食」の風景- 1/4~5/8 (計2,406人 ※4/1~5/8は874人) 生活の向上を求めた小作農民と眞嶋桂次郎展 5/28~8/28
6月	647	生活の向上を求めた小作農民と眞嶋桂次郎展 5/28~8/28
7月	660	生活の向上を求めた小作農民と眞嶋桂次郎展 5/28~8/28
8月	445	生活の向上を求めた小作農民と眞嶋桂次郎展 5/28~8/28 (計1,840人)
9月	355	アートの世界を楽しむ展 9/17~10/23
10月	0	アートの世界を楽しむ展 9/17~10/23 (計666人)
11月	0	臨時休館
12月	0	臨時休館
1月	0	昭和のくらし展-着るたのしみ、装うたしなみ- 1/4~5/7
2月	0	昭和のくらし展-着るたのしみ、装うたしなみ- 1/4~5/7
3月	0	昭和のくらし展-着るたのしみ、装うたしなみ- 1/4~5/7 (●●●●人 ※1/4~3/31)
合計	3,269	

・「入館者数」は、館内に入場した人数です。展覧会観覧者数や事業参加者数の合計とは異なります。

月別入館者数調べ(本館のみ)

(人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	四半期 R4/R3
4月	464	426	379	434	510	649	698	272	610	628	110.8%
5月	610	504	446	547	427	554	527	185	470	534	
6月	587	376	674	743	683	535	589	532	553	647	
7月	1,117	1,081	888	1,231	1,198	790	606	427	570	660	67.9%
8月	850	757	1,039	882	1,135	952	1,003	526	800	445	
9月	1,220	1,360	1,331	982	1,302	1,040	1,048	850	781	355	
10月	910	532	452	0	575	698	798	481	648		
11月	924	1,181	1,289	1,201	1,015	990	1,557	781	530		
12月	428	193	580	582	337	418	354	605	677		
1月	370	260	551	769	510	422	671	665	530		
2月	647	635	714	656	323	701	738	468	372		
3月	925	1,094	426	875	492	516	306	450	630		
合計	9,052	8,399	8,769	8,902	8,507	8,265	8,895	6,242	7,171		